

データベースの利用について

TA 高橋 邦幸

■ 概 要

『国史大辞典』や『日本国語大辞典』などは「ジャパンナレッジ+」でオンライン検索できます。さらに、次の方法で干支表など各種一覧データも閲覧できます。また、ジャパンナレッジ以外にもデータベースがありますので、活用してください。

■ 各種一覧データ閲覧方法

中央大学ホーム→施設・附属機関→図書館→データベース・電子ジャーナル→データベースと進み、「ジャパンナレッジ+」をクリックして、トップ画面を開いた後、「誰でも読める日本史年表」の個別画面を開き、「資料」をクリックすると、各種一覧データが表示されます。もちろん、パソコン教室や図書館で印刷することも可能です。

■ 『国史大辞典』などのコピーについて

「ジャパンナレッジ+」で検索可能な辞典については、パソコン教室や図書館で印刷すればコピー代が掛かりませんので、活用して下さい。

■ 東京大学史料編纂所データベースの活用について

史料編纂所でもデータベースを公開しています。大日本史料や平安遺文など多くの史料集を検索できるので、非常に有用です。古代に限らず、明治維新までが対象になっています。複数のデータベースを同時に検索する場合は左上の「横断検索」が便利です。

なお、日本史学研究室や図書館からアクセスする場合、検索エンジンの利用が出来ませんので、史料編纂所の URL (<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/>) を直接アドレスバーに入力して下さい。最初は英文ページが表示されるので、右上の JAPANESE をクリックして下さい。

■ その他のデータベース・史料本文データについて

▼ 古事類苑ページ検索システム

国際日本文化研究センタートップ→データベース→古事類苑ページ検索システム

▼ 六国史

<http://www013.upp.so-net.ne.jp/wata/> → XML による六国史検索の試み

▼ 日本古代史料本文データ

<http://kodaishi-db.hp.infoseek.sk/>

▼ 古代史癡祭

<http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/>

▼ 吉村武彦ゼミ公開データベース

<http://www.isc.meiji.ac.jp/~yoshimu/database.html>